

2019年6月13日(木)

第44回 山と自然のサイエンスカフェ@信州

# 霧ヶ峰のお花畑をどう守る？

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所

小山明日香

- 半自然草原とは何か
- 霧ヶ峰で今何が起きているか
- シカ柵でお花畑は守られるか

# 半自然草原とは何か

- **人の管理や利用**で維持されてきた草原  
→ 放置すると**樹林化**する
- 開発や管理放棄によって急速に減少

火入れ

採草

放牧

# 霧ヶ峰で今何が起きているか

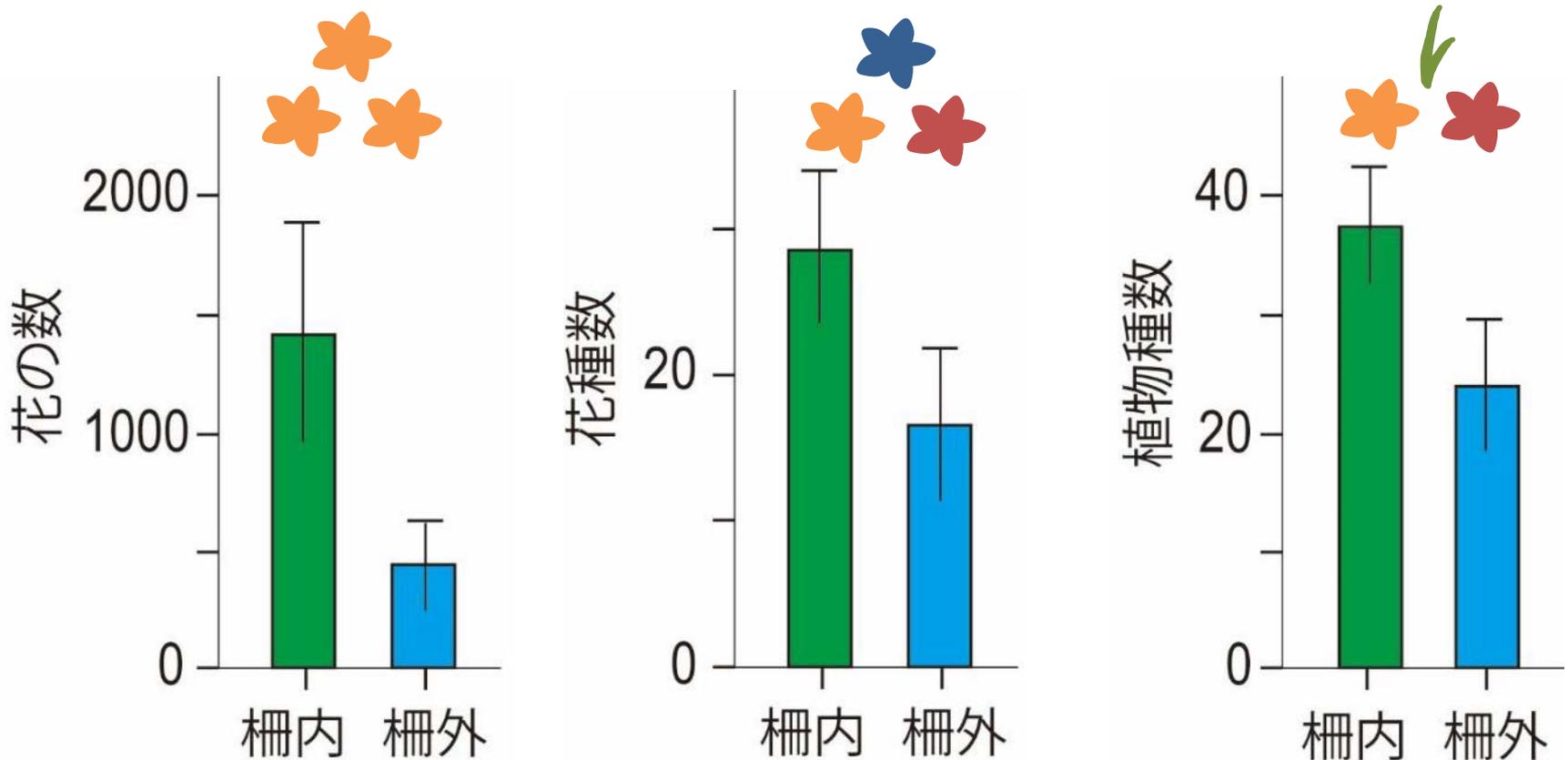
お花畑がシカに食われている

- 1990年頃～  
シカの目撃が増加
- 2007年頃～  
ニッコウキスゲの  
食害被害が深刻化
- 観光客の減少傾向

ニホンジカ  
(シカ科シカ属)

# シカ柵でお花畑は守られるか

- 植物の種多様性が守られている



1ラインあたりの平均値 (2017年6・8月調査結果)

2019年6月13日（木）

第44回 山と自然のサイエンスカフェ@信州

# 「霧ヶ峰のお花畑をどう守る？」

神奈川大学 理学部生物科学科 特別助教

## 岩崎 貴也

- いろいろな視点から自然を見る
- **空から**見たお花畑
- **遺伝子（DNA）から**見たお花畑

# いろいろな視点から自然を見る

陸から  
(小山さん)



遺伝子  
(DNA) から

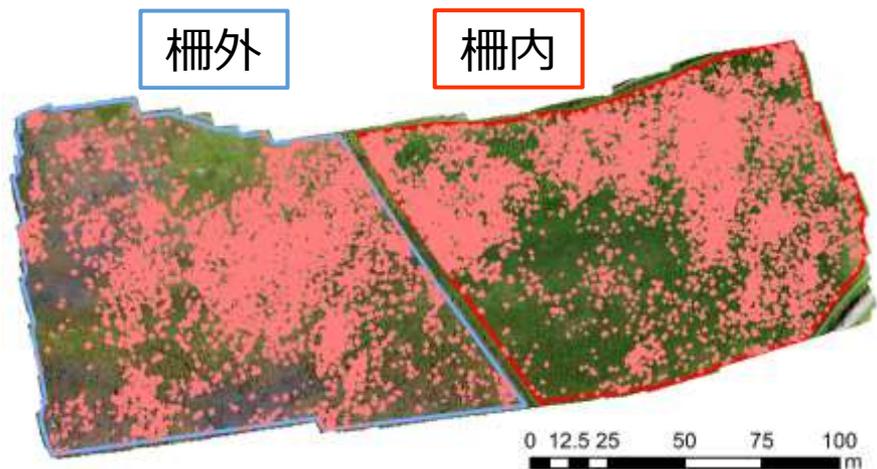


空から

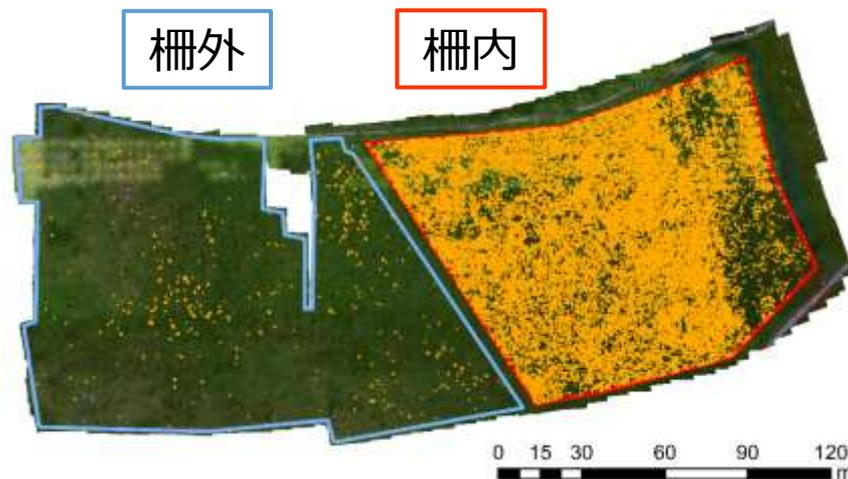


見えなかったものが見えてくる

# 空からみたお花畑



6月の防鹿柵4（レンゲツツジの花を点で表示）



7月の防鹿柵4（ニッコウキスゲの花を点で表示）

1ha当たりの  
花数と花面積

柵外

柵内

レンゲツツジ

20,454 花  
336.7 m<sup>2</sup>

≒

23,220 花  
331.4 m<sup>2</sup>

← ほぼ同じ

ニッコウキスゲ

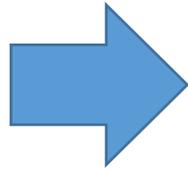
453 花  
1.1 m<sup>2</sup>

<<

**30,242 花** ← 柵外の約67倍  
**118.3 m<sup>2</sup>** ← 柵外の約107倍

# 遺伝的多様性“も”守る

- ✓ 霧ヶ峰の狭い範囲内でも遺伝子に違いがある
- ✓ 種によって遺伝的多様性が高い地域が異なる



どこか特定のエリアだけを守るのではなく、あちこちに防鹿柵を設置することが有効

